

令和5年3月23日	
所 属	学校教育課
所属長	澤田 慶太
電 話	06-4950-5685

市立特別支援・小学校の卒業証書における記載誤りについて

市立特別支援学校及び市立小学校において、記載誤りのあるまま印刷した卒業証書を、令和4年度卒業生32名に授与していたことが判明しましたのでお知らせします。

1 経 緯

令和5年3月17日（金）：市立特別支援学校 1名分の記載誤り判明

- 市立特別支援学校小学部及び中学部の卒業証書授与式において、卒業生9名（小学部2名・中学部7名）に対し、卒業証書を授与しました。
- 式終了後、中学部卒業生1名の保護者から学校に連絡があり、「中学部」と記載される個所が「小学部」と誤って記載されていると指摘を受けました。

令和5年3月20日（月）：市立小学校 31名分の記載誤り判明

- 市立小学校の卒業証書授与式において、卒業生83名に対し、卒業証書を授与しました。
- 式終了後、各学級に戻った際、児童から学級担任に対し、「生年月日」が誤って記載されていると指摘を受けました。
- 学級担任が全児童に確認したところ、1クラス41名中31名の児童分に、「生年月日」が誤って記載されていることが判明しました。

2 記載誤りの原因

卒業証書に記載誤りが生じた原因について関係者に聞き取り調査を行ったところ、各校における原因は次のとおりです。

・市立特別支援学校

印刷を行うための基礎データに誤りがあることに気付いた教員が修正したが、正確なデータの保存ができておらず、誤りのあるデータをもとに印刷してしまいました。印刷された卒業証書を確認しましたが、当該誤りを見落としました。

・市立小学校

児童に「氏名」「生年月日」の確認を行うため、事前にテスト印刷して児童に配布したところ、複数の児童の生年月日に記載誤りがあり、6年担当教員がデータの修正を行い保存しました。一方で、誤りのあるデータを破棄せず、同じフォルダに保存したことから、後日、卒業証書印刷の担当にあっていた学年教員が、誤りのある方のデータを使って印刷しました。印刷された卒業証書を6年担当教員が確認しましたが、「児童氏名」「証書番号」の確認にとどまり、「生年月日」までは確認していませんでした。

3 今後の対応

今回の事案の対象となる卒業生及びその保護者の皆様に対しては、家庭訪問を行い、謝罪するとともに、正しい卒業証書との差し替えを行いました。

今後は、管理職を含め学年担当教職員が複数体制で、印刷された卒業証書を、指導要録や家庭調査票等を基に確認作業を行うとともに、学校の信頼回復に最善を尽くしてまいります。教育委員会といたしましても、今回の事例を受け、校園長会等において、卒業証書作成手順や確認作業の徹底等の周知を図り、再発防止に努めてまいります。

以 上